

平成25年度事務事業評価表(平成24年度振り返り)

政策名		健康で幸せにすごせるまち		施策番号・名		10		健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号・名		10-02		健康づくりの推進									
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体						一般財源分				全庁評価会議 (26年度に向けた方向性等)			
	所管課長名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等			特定財源に伴う一般財源		一般財源					
	事務事業名												25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	26年度以降方向性	26年度以降方向性				
10-02-01	健康課 保健サービス係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 (国)健康増進法第十七条および十九条の二(市)健康増進計画「わくわく健康プラン東くるめ」	対象 18歳以上の市民及び、その家族で健康管理上の助言相談を希望する者 手段・内容 18歳以上の市民及び、その家族で健康管理上の助言を希望する者	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：健康増進費補助金(基準額の1/3市負担及び基準額超過分が市負担)	平成24年度	25年度以降方向性	26年度以降方向性	説明欄： 26年度に向けた方向性等			
	健康課長 原田 祐子			466	466	100	222	411	633	必要性 3	有効性 3	達成度 3	効率性 3	74	25年度以降方向性	26年度以降方向性							
	中高年健康相談事業			財源	①全額補助 ■一部補助有 □市全額	260	260	100	148	335	483	50	説明欄：市内各地域センターで開催することで、健康課(滝山)には、来所できない方の相談・健康教育の場となっている。1回100名程度の申し込み枠で、健康度測定も行っており、参加者も多い。健康情報の氾濫の中で、正確な情報と専門スタッフでの健康に関する相談事業は、今後も必要であると考えられる。そのため、継続が必要な事業である。4回実施。	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度
				事業形態	■直営(委託無) □全部委託 □一部委託 □補助・助成金 □その他()	208	208	100	150	396	546	85		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度	平成22年度	平成22年度
10-02-02	健康課 特定健診係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 健康増進法	対象 胃がん検診受診者 手段・内容 胃がん検診待ち時間に行なう「がん予防の生活習慣」についての展示・乳がんモデルを活用した自己触診法体験・健康相談(希望者)・他のがん検診のPR	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	廃止(完了・統合含)	平成24年度	説明欄：	平成24年度	25年度以降方向性	26年度以降方向性	説明欄： 26年度に向けた方向性等			
	健康課長 原田 祐子			1,025	172	17	0	74	74	必要性 2	有効性 2	達成度 2	効率性 2	0	25年度以降方向性	26年度以降方向性							
	がん予防健康教育事業			財源	□全額補助 ■一部補助有 □市全額	1,047	862	82	10	482	492	4	説明欄：がん予防対策として、胃がん検診終了時を利用して健康教育を実施している。受診者は空腹のため家路を急ぐ傾向で、事業としては期待されている効果が得られていない。24年度は23年度に購入したパンフレット及び無料のパンフレット、手作りの展示用パネルを使用しているため、事業費としてはかかっている。次年度以降はパンフレットや展示用パネルのみでの健康教育で充分と考える。	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度
				事業形態	■直営(委託無) □全部委託 □一部委託 □補助・助成金 □その他()	1,088	662	61	124	297	421	83		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度	平成22年度	
10-02-03	健康課 保健サービス係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 (国)健康増進法(市)健康増進計画	対象 食事・健康相談希望の一般市民 手段・内容 妊娠期・乳幼児期から高齢期までの食生活や健康に関する不安に対して、助言、支援する。	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：健康増進費補助金(基準額の1/3市負担及び基準額超過分が市負担)・人件費(栄養士)相談・消耗品(パンフレット等購入費)	平成24年度	25年度以降方向性	26年度以降方向性	説明欄： 26年度に向けた方向性等			
	健康課長 原田 祐子			72	63	88	165	625	790	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 3	55	25年度以降方向性	26年度以降方向性							
	食事相談事業			財源	□全額補助 ■一部補助有 □市全額	95	78	82	177	643	820	59	説明欄：生活習慣の見直しを希望される方に対し、病態に対する正しい知識や食生活上の留意点など情報提供・助言し、健康管理継続できることを支援している。既に通院・服薬されている方も多く利用がある。相談の結果、助言を實踐し受診に繋がったり、検査データの数値改善がみられたりしており、有効性・達成度が高い。(乳幼児の相談に関しては育児相談を利用する方が多い)	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		平成23年度	平成23年度	平成23年度
				事業形態	■直営(委託無) □全部委託 □一部委託 □補助・助成金 □その他()	88	74	84	609	575	1,184	352		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度	平成22年度	
10-02-04	健康課 保健サービス係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 健康増進法第17条、第19条の2東久留米市健康増進計画	対象 ①概ね更年期前の市民女性 ②骨粗しょう症検診受診または骨粗しょう症に興味のある市民女性 ③骨粗しょう症検診対象者の市民女性 手段・内容 ①女性の健康づくり講座参加者数 ②骨粗しょう症講演会参加者数 ③骨粗しょう症検診時健康教育・相談参加者数	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：健康増進費補助金(基準額の1/3市負担及び基準額超過分が市負担)医師等謝金・参加者の個別評価の実施。消耗品費(女性の健康手帳・女性の健康パンフレット)賄材料費・臨時職員賃金	平成24年度	25年度以降方向性	26年度以降方向性	説明欄： 26年度に向けた方向性等			
	健康課長 原田 祐子			①16②77③158	①16②52③158	①100②90③100	202	345	547	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	67	25年度以降方向性	26年度以降方向性							
	女性の健康づくり事業			財源	□全額補助 ■一部補助有 □市全額	①20②30③162	①20②25③162	①100②83③100	204	241	445	68	説明欄：女性が生涯を通じて健康で明るく充実した日々を過ごせるように支援することが求められている。①の「女性の健康づくり」の対象は子育て中の女性であることで、保育付きを継続。若い世代が参加することにより、健康増進の効果が高まると考えられる。また、更年期からの女性では②の「骨粗しょう症予防」に取り組むことは、健康の維持・増進とともに介護予防につながる。今後平均寿命の延長に伴い、女性のライフサイクルに応じた事業展開として重要である。	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		平成23年度	平成23年度	
				事業形態	■直営(委託無) □全部委託 □一部委託 □補助・助成金 □その他()	①10②39	①10②29	①100②74	626	223	849	417		平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		平成22年度	平成22年度	

平成25年度事務事業評価表(平成24年度振り返り)

政策名		健康で幸せにすごせるまち		施策番号・名		10 健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号・名		10-02		健康づくりの推進										
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体				一般財源分				全庁評価会議 (26年度に向けた方向性等)				
	所管課長名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等	特定財源に伴う一般財源		一般財源						
	事務事業名													事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等					
10-02-05	健康課 保健サービス係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 健康増進法 東久留米市健康づくり推進協議会設置要綱	対象 健康づくりを推進するための関係機関・団体・市民代表からなる15名の委員 手段・内容 年2回開催 主にわくわく健康プラン東くるめの推進についての協議	年度で協議した数	課題が協議され合意を得た数	課題が協議され合意を得た割合	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：東京都包括補助市1/2の負担割合 <事業費>委員謝金 ※平成24年度より補助金対象となっている	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	説明欄：	
	健康課長 原田 祐子						2	2	100	211	185	396	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	106		必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4						
	健康づくり推進協議会事業						財源	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額	2	2	100	221	206	427		説明欄：委員は、医師会、歯科医師会、薬剤師会、保健所の他、地域の健康づくりに関連する組織と一般市民から構成され、健康課事業と健康づくり計画の調整・協議を行っている。効果的な事業展開について、積極的な意見や協力が得られており、今後も地域で健康づくりを推進するために必要である。	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		221
							上乗	<input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出)	2	2	100	222	302	524			平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		222
							事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	2	2	100	222	302	524			平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		222
10-02-06	健康課 保健サービス係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 (国)健康増進法 (市)健康増進計画	対象 市民 手段・内容 ・テーマ別で年3回実施 ・糖尿、脂質異常、高血圧の予防に関する病態別講座と調理実習を実施 ・自主グループなど地域活動を紹介することで、健康づくりの継続を促す。	生活習慣病予防に興味を持っている市民(申込者)	受講者数	「生活習慣病予防の知識が得られた」とアンケートで答えた者の割合	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：健康増進費補助金(基準額の1/3市負担及び基準額超過分が市負担) ・人件費(各講座：栄養士2名、事務1名、保育士1名、各調理実習：栄養士4名、事務1名、保育士1名)参加者の個別評価の実施。 ・消耗品(パンフレット等、調理衛生用品購入費など) ・賄材料費	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄：	
	健康課長 原田 祐子						69	60	95	582	535	1,117	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 3	194		必要性 有効性 達成度 効率性						
	健康セミナー事業						財源	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額	147	122	83	503	580	1,083		説明欄：生活習慣病予防に関する知識を伝え、実践することによっていきいきと暮らすことに繋がるため必要性としては高い。 参加者が生活習慣改善に取り組めるように、実践できるような具体的内容を伝えており、最後にシートに目標を設定、参加者が自分でチェックできるようにしている。 生活習慣改善につながっており有効性、達成度ともに高い。 今後も、参加者数を増やすような教室周知を行い、青壮年期世代から生活習慣病予防について気をつけてもらえるように働きかけていくことで、医療費及び介護サービス費抑制を目指す。	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		168
							上乗	<input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出)	131	110	84	795	644	1,439			平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		556
							事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	131	110	84	795	644	1,439			平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		556
10-02-07	健康課 予防係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 麻薬及び向精神薬取締法、覚せい剤取締法、あへん取締法、大麻取締法、薬事法	対象 公立中学校生徒 手段・内容 市内公立中学校に薬物に関するポスター・標語を募集し、表彰を行う。地区協議会指導員により中学生に対する啓発のための講演を行う。	公立中学校生徒数	ポスター・標語の応募数	ポスター・標語の応募率	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：中学生が薬物によるさまざまな害を認識する機会をすることにより、薬物乱用を防ぐことを目的としている。引き続き、講演会等の開催により中学生や保護者に対する啓発につとめ、薬物乱用の根絶を目指す。 その他収入として、東京都知事より委嘱された東久留米地区協議会推進員が行っている事業である。東京都薬物乱用推進協議会から東久留米地区協議会への助成金13万円、委託料3万円あり。 薬物乱用防止に関するポスターの表彰状の筆耕料として、3万円を計上している。	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	説明欄：	
	健康課長 原田 祐子						2,787	1,408	50.5	30	288	318	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	30		必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4						
	薬物乱用防止推進事業						財源	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助有 <input checked="" type="checkbox"/> 市全額	2,788	1,525	54.6	30	283	313		説明欄：中学生が薬物によるさまざまな害を認識する機会をすることにより、薬物乱用を防ぐことを目的としている。引き続き、講演会等の開催により中学生や保護者に対する啓発につとめ、薬物乱用の根絶を目指す。 その他収入として、東京都知事より委嘱された東久留米地区協議会推進員が行っている事業である。東京都薬物乱用推進協議会から東久留米地区協議会への助成金13万円、委託料3万円あり。 薬物乱用防止に関するポスターの表彰状の筆耕料として、3万円を計上している。	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		30
							上乗	<input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出)	2,726	896	32.9	30	283	313			平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		30
							事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input checked="" type="checkbox"/> その他(都→地区協へ委託あり)	2,726	896	32.9	30	283	313			平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		30
10-02-08	健康課 保健サービス係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 健康増進法第八條 健康増進計画「わくわく健康プラン東くるめ」	対象 市民 手段・内容 ①既存の健康に関する取り組みの推進②お宝の推進(「禁煙キャラバンわくわく」「わくわく健康応援隊」「心の元気プロジェクト」「わくわく健康サロン」「わくわく健康フェスタ・フォーラム」「やさしい博士になろう」「わくわくウォーク」)③部会、打ち合わせ会部員数 広報活動	部会、打ち合わせ会部員数	部会、打ち合わせ会への参加者数	部会、打ち合わせ会への参加者率	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：東京都包括補助市1/2の負担割合 <事業費> ・嘱託保健師報酬 ・講師謝金 ・事務賃金 ・消耗品事務費 ・ウォーキングマップ等印刷製本 ・試作等賄い材料費 ・切手等通信運搬費	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄：	
	健康課長 原田 祐子						1,327	1,097	83	3,215	7,853	11,068	必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4	1,607		必要性 有効性 達成度 効率性						
	わくわく健康プラン推進事業						財源	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額	1,840	1,599	87	2,084	7,982	10,066		説明欄：東久留米市健康増進計画8年目になり、プランに沿って7つの生活習慣の活動を健康づくり推進員(市民)とともに展開しており、着実に地域の中に健康づくりの輪が広がってきている。10年計画の最終期の第IV期に入るが、今後も市民と協働の取り組みとして、更に計画を推進していく必要がある。	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		1,042
							上乗	<input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出)	1,998	1,810	91	5,228	8,917	14,145			平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		1,265
							事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	1,998	1,810	91	5,228	8,917	14,145			平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		1,265

平成25年度事務事業評価表(平成24年度振り返り)

政策名		健康で幸せにすごせるまち						施策番号・名		10		健やかな生活を支える保健医療の推進			基本事業番号・名		10-02		健康づくりの推進					
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乘、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)			事務事業全体						一般財源分			全庁評価会議 (26年度に向けた方向性等)				
	所管課長名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	①	②	①+②	事務事業の方向性、項目別評価及びその理由等			特定財源に伴う一般財源		一般財源						
	事務事業名															事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等					
10-02-09	健康課 特定健診係 健康課長 原田 祐子 特定保健指導事業	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 高齢者の医療の確保に関する法律(国)	対象 特定健診の結果メタボリックシンドロームのリスクが高く、動機づけ支援または積極的支援の対象者と判定された40～74歳の東久留米市国民健康保険加入者	指標 平成24年度 1,091 (人)	実績値 (単位) 平成23年度 1,060 (人)	指標 平成24年度 251 (人)	実績値 (単位) 平成23年度 305 (人)	指標 平成24年度 23.1 (%)	実績値 (単位) 平成23年度 28.8 (%)	① 平成24年度 7,913 (千円)	② 平成24年度 5,225 (千円)	①+② 平成24年度 13,138 (千円)	25年度以降方向性 必要性4 有効性4 26年度以降方向性 達成度3 効率性3	25年度以降方向性 必要性4 有効性4 26年度以降方向性 達成度3 効率性3	説明欄： 国民健康保険特別会計 (法定繰入なし)		平成24年度 25年度以降方向性 必要性4 有効性4 26年度以降方向性 達成度3 効率性3	説明欄： 						
10-02-10	健康課 特定健診係 健康課長 原田 祐子 特定健康診査事業	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 高齢者の医療の確保に関する法律(国)	対象 40～74歳の東久留米市国民健康保険加入者	指標 平成24年度 24,327 (人)	実績値 (単位) 平成23年度 24,585 (人)	指標 平成24年度 11,924 (人)	実績値 (単位) 平成23年度 11,532 (人)	指標 平成24年度 49.0 (%)	実績値 (単位) 平成23年度 46.9 (%)	① 平成24年度 139,572 (千円)	② 平成24年度 5,616 (千円)	①+② 平成24年度 145,188 (千円)	25年度以降方向性 必要性4 有効性4 26年度以降方向性 達成度3 効率性3	25年度以降方向性 必要性4 有効性4 26年度以降方向性 達成度3 効率性3	説明欄： 国民健康保険特別会計 (法定繰入なし)		平成24年度 25年度以降方向性 必要性4 有効性4 26年度以降方向性 達成度3 効率性3	説明欄： 						
10-02-11	健康課 保健サービス係 健康課長 原田 祐子 自殺予防普及啓発事業	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 自殺対策基本法 東京都地域自殺対策緊急強化事業実施要領 地域自殺対策緊急強化事業区市町村計画書 (東久留米市)	対象 市民	指標 平成24年度 87 (人)	実績値 (単位) 平成23年度 ①89 ②42 (人)	指標 平成24年度 144 (人)	実績値 (単位) 平成23年度 ①179 ②42 (人)	指標 平成24年度 100 (%)	実績値 (単位) 平成23年度 100 (%)	① 平成24年度 594 (千円)	② 平成24年度 679 (千円)	①+② 平成24年度 1,273 (千円)	25年度以降方向性 現況維持 26年度以降方向性 現況維持	25年度以降方向性 現況維持 26年度以降方向性 現況維持	説明欄： 		平成24年度 25年度以降方向性 必要性4 有効性4 26年度以降方向性 達成度3 効率性3	説明欄： 						
10-02-12	健康課 特定健診係 健康課長 原田 祐子 がん検診フォロー事業	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 がん検診予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(国)	対象 がん検診の結果「要精密」と判定された市民	指標 平成24年度 1,424 (人)	実績値 (単位) 平成23年度 464 (人)	指標 平成24年度 961 (人)	実績値 (単位) 平成23年度 408 (人)	指標 平成24年度 64 (%)	実績値 (単位) 平成23年度 87 (%)	① 平成24年度 103 (千円)	② 平成24年度 411 (千円)	①+② 平成24年度 514 (千円)	25年度以降方向性 現況維持 26年度以降方向性 現況維持	25年度以降方向性 現況維持 26年度以降方向性 現況維持	説明欄： 包括事業補助金(基準額の1/2及び基準額超過分が市の負担)		平成24年度 25年度以降方向性 必要性4 有効性4 26年度以降方向性 達成度4 効率性4	説明欄： 						

平成25年度事務事業評価表(平成24年度振り返り)

政策名		健康で幸せにすごせるまち		施策番号・名		10		健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号・名		10-02		健康づくりの推進															
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体						一般財源分				全庁評価会議 (26年度に向けた方向性等)									
	所管課長名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等						特定財源に伴う一般財源		一般財源								
	事務事業名																		事業費 (実績額) (千円)		事業費の概要説明		事業費 (実績額) (千円)		事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等				
10-02-13	健康課 特定健診係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 がん対策推進基本計画(国) 健康増進法(国) がん検診実施要綱(市)	対象 40歳以上の市民 手段・内容 問診・胃部エックス線検査の実施 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	平成24年度 38,693 (人) 平成23年度 38,222 (人) 平成22年度 37,632 (人)	平成24年度 1,025 (人) 平成23年度 1,047 (人) 平成22年度 1,088 (人)	平成24年度 2.6 (%) 平成23年度 2.7 (%) 平成22年度 2.9 (%)	平成24年度 4,062 (千円) 平成23年度 4,152 (千円) 平成22年度 4,314 (千円)	平成24年度 905 (千円) 平成23年度 981 (千円) 平成22年度 1,090 (千円)	平成24年度 4,967 (千円) 平成23年度 5,133 (千円) 平成22年度 5,404 (千円)	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：市町村総交付金を活用 雑入(自己負担金)500円×1,024人=512,000円を充当している。	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄：								
	健康課長 原田 祐子									必要 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3 説明欄：バリウムによる胃部レントゲン間接撮影。毎年、数名ががんが発見されている。自己負担金500円。	1,629	必要 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	
	胃がん検診事業										2,250	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度
											1,433	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度
10-02-14	健康課 特定健診係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 高齢者の医療の確保に関する法律(国)	対象 後期高齢者医療被保険者(75歳以上の方、65歳以上で一定の障害がある方) 手段・内容 対象者には個別通知 市内指定医療機関にて個別健診実施 問診、身体計測、診察、血圧、血液検査(血糖、脂質、肝機能、貧血等)、尿検査、心電図 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	平成24年度 12,148 (人) 平成23年度 11,424 (人) 平成22年度 10,639 (人)	平成24年度 7,000 (人) 平成23年度 6,433 (人) 平成22年度 5,971 (人)	平成24年度 57.6 (%) 平成23年度 56.3 (%) 平成22年度 56.1 (%)	平成24年度 73,288 (千円) 平成23年度 44,938 (千円) 平成22年度 42,676 (千円)	平成24年度 5,616 (千円) 平成23年度 6,087 (千円) 平成22年度 6,763 (千円)	平成24年度 78,904 (千円) 平成23年度 51,025 (千円) 平成22年度 49,439 (千円)	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：後期高齢者医療特別会計 健康診査費雑入金	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄：								
	健康課長 原田 祐子									必要 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄：東京都後期高齢者広域連合より委託を受け、市内指定医療機関にて健診実施。対象者全員に受診券等を郵送。誕生月毎に健診実施月を分け、6~10月に市内指定医療機関にて個別健診実施。東京都後期高齢者広域連合の定めにより、自己負担金500円徴収。市内医療機関の協力もあり、高い受診率を維持しており、病気の早期発見・早期治療のためには今後も継続実施が必要。 財源：保険料、健康診査費受託事業収入10/10	31,918	必要 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		
	後期高齢者健康診査事業										20,107	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度
											19,628	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度
10-02-15	健康課 特定健診係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 がん対策推進基本計画(国) 健康増進法(国) がん検診実施要綱(市)	対象 和暦偶数年生まれの20歳以上の女性 手段・内容 問診・視診・内診・ 子宮頸部の細胞診の実施 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	平成24年度 32,250 (人) 平成23年度 32,304 (人) 平成22年度 32,210 (人)	平成24年度 1,097 (人) 平成23年度 1,381 (人) 平成22年度 1,032 (人)	平成24年度 7.6 (%) 平成23年度 7.3 (%) 平成22年度 6.4 (%)	平成24年度 6,298 (千円) 平成23年度 7,719 (千円) 平成22年度 5,869 (千円)	平成24年度 802 (千円) 平成23年度 870 (千円) 平成22年度 967 (千円)	平成24年度 7,100 (千円) 平成23年度 8,589 (千円) 平成22年度 6,836 (千円)	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：市町村総交付金を活用 雑入(自己負担金)1,000円×1,087人=1,087,000円を充当している。	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄：								
	健康課長 原田 祐子									必要 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3 説明欄：東久留米市医師会に検診を委託している。市内に婦人科が少ないのが課題。若年層の受診率が低いため、個別勧奨等で受診率の向上を図る必要がある。自己負担金1,000円。	3,561	必要 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		
	子宮がん検診事業										4,592	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度
											1,949	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度
10-02-16	健康課 特定健診係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 がん対策推進基本計画(国) 健康増進法(国) がん検診実施要綱(市)	対象 和暦偶数年生まれの40歳以上の女性 手段・内容 問診・視触診・ マンモグラフィ検診(乳房エックス線検査)の実施 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	平成24年度 25,430 (人) 平成23年度 25,137 (人) 平成22年度 24,794 (人)	平成24年度 815 (人) 平成23年度 912 (人) 平成22年度 978 (人)	平成24年度 6.6 (%) 平成23年度 6.9 (%) 平成22年度 7.4 (%)	平成24年度 3,898 (千円) 平成23年度 4,264 (千円) 平成22年度 4,570 (千円)	平成24年度 1,214 (千円) 平成23年度 1,316 (千円) 平成22年度 1,462 (千円)	平成24年度 5,112 (千円) 平成23年度 5,580 (千円) 平成22年度 6,032 (千円)	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：市町村総交付金を活用 雑入(自己負担金)1,000円×809人=809,000円を充当している。	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄：								
	健康課長 原田 祐子									必要 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4 説明欄：清瀬の複十字病院に検診を委託している。マンモグラフィによる検診。市内には国の基準を満たすマンモグラフィ検診のできる医療機関はない。がん発見率が例年5つのがん検診事業で最も高い。自己負担金1,000円。	2,340	必要 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		
	乳がん検診事業										2,336	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度
											1,518	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度

平成25年度事務事業評価表(平成24年度振り返り)

政策名		健康で幸せにすごせるまち	施策番号・名		10	健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号・名		10-02	健康づくりの推進																			
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)		事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図		対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体										全庁評価会議 (26年度に向けた方向性等)								
	所管課長名					指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額)		人件費 (理論値)	トータル コスト	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等				特定財源に伴う一般財源			一般財源							
	事務事業名					①	②	①+②	①	②	①+②	(千円)	(千円)			(千円)	必要性	有効性	達成度	効率性	事業費 (実績額) (千円)		事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等					
10-02-17	健康課 特定健診係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 がん対策推進基本計画(国) 健康増進法(国) がん検診実施要綱(市)	対象 40歳以上の市民 手段・内容 問診・胸部X線検査(全員) 喀痰細胞診検査(医師が必要と認められた者のみ)の実施	平成22年度から、対象人口率64.5%に変更。 対象者数(対象人口率57.4%)	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：市町村総合交付金を活用	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄： 26年度に向けた方向性等						
	健康課長 原田 祐子				43,178	533	1.2	3,535	864	4,399	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	2,203	説明欄：市町村総合交付金を活用 納入(レントゲン撮影のみ自己負担金)1,500円×434人=651,000円を充当している。	平成24年度	必要性			有効性		達成度		効率性	
	がん検診事業				平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	説明欄：東久留米市医師会に検診を委託。肺がん検診実施後に、読影会開催しており、近年パソコンによるレントゲンフィルムを管理する医療機関が増えている。	平成23年度	2,000円×82人=164,000円を充当している。	平成23年度	説明欄： 26年度に向けた方向性等										
	財源				平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度										
10-02-18	健康課 特定健診係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 がん対策推進基本計画(国) 健康増進法(国) がん検診実施要綱(市)	対象 40歳以上の市民 手段・内容 便潜血検査(2日法)の実施	平成22年度から、対象人口率62.0%に変更。 対象者数(対象人口率66.4%)	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	拡大	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：市町村総合交付金を活用	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄： 26年度に向けた方向性等						
	健康課長 原田 祐子				41,504	14,466	34.9	7,379	403	7,782	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	10,009	説明欄：東久留米市医師会に検診を委託している。便潜血検査(2日法)で実施。毎年、がん発見率の高い検診。受診率の向上を図るため、24年度から特定健康診査・後期高齢者健診等の健診と同時実施したことにより34.9%の高い受診率となった。(23年度までは1,000円)	平成24年度	必要性			有効性		達成度		効率性	
	大腸がん検診事業				平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	説明欄： 26年度に向けた方向性等									
	財源				平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度									
10-02-19	健康課 特定健診係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 健康増進法(国) 骨粗しょう症検診実施要綱(市)	対象 20、25、30、35、40、45、50、55、60、65歳の女性 手段・内容 8月に広報で募集 ながきで申し込みわくわく健康プラザにて問診、骨密度測定。結果を医師が判定し、当日渡す。	対象者	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：20歳、25歳、30歳、35歳は(都)医療包括事業補助金(基準額の1/2が市の負担)。市町村総合交付金も活用。納入(自己負担金)500円×157人=78,500円を充当している	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄： 26年度に向けた方向性等						
	健康課長 原田 祐子				7,468	158	2.1	206	428	634	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	158	説明欄： 26年度に向けた方向性等										
	骨粗しょう症(節目)検診事業				平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	説明欄：わくわく健康プラザにて検診車を用いて実施している。平成21年度より、当日に結果を渡すことでコストを削減。受診後、検診結果が出るまでの間に、栄養士、保健師の健康教育を実施。要精密検査と判定された方へは、更に栄養士、保健師による個別相談を行っている。若年層の受診率向上が課題である。自己負担金500円。	平成23年度	181	平成23年度	説明欄： 26年度に向けた方向性等										
	財源				平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度									
10-02-20	健康課 特定健診係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 健康増進法(国) 成人歯科検診実施要綱(市)	対象 市民40〜70歳の節目(5歳刻み)男女 手段・内容 問診：歯と歯ぐきの診断	対象者	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：45歳、55歳、65歳は包括事業補助金(基準額の1/2及び基準額の超過分が市の負担)40歳、50歳、60歳、70歳は健康診査費補助金(基準額の1/3及び基準額超過分が市の負担)	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄： 26年度に向けた方向性等						
	健康課長 原田 祐子				11,559	719	6.2	5,862	403	6,265	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	4,157	説明欄：東久留米市歯科医師会に委託。歯と歯ぐきの診断をし、予防のための検診を実施。個別勧奨を工夫し受診率を上げる必要がある。自己負担金500円。	平成24年度	必要性			有効性		達成度		効率性	
	成人歯科健診(節目)事業				平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	説明欄： 26年度に向けた方向性等									
	財源				平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度									

平成25年度事務事業評価表(平成24年度振り返り)

政策名	健康で幸せにすごせるまち	施策番号・名	10	健やかな生活を支える保健医療の推進	基本事業番号・名	10-02	健康づくりの推進
-----	--------------	--------	----	-------------------	----------	-------	----------

事務事業番号	所管課係名 所管課長名 事務事業名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体							一般財源分				全庁評価会議 (26年度に向けた方向性等)												
				指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等				特定財源に伴う一般財源		一般財源														
													25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等													
10-02-21	健康課 予防係	根拠法令等 狂犬病予防法	対 象 市内の犬	手 段・ 内 容 健康課で登録、再交付、転入等変更届の手続きが出来る。獣医師に注射済票等交付手続きを一部委託。4月には市内5箇所で集合注射をしている。	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄：事業費については、交付手数料の歳入により、実施。	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	説明欄： 26年度に向けた方向性等										
	健康課長 原田 祐子				5,177	3,947	76	2,422	823	3,245	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	0	2,422		必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4												
	犬の登録及び狂犬病 予防注射事業				財源	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	25年度以降方向性	現状維持		26年度以降方向性	現状維持	平成23年度	1,594	必要性 4		有効性 4	達成度 4	効率性 4	0	1,594	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	
					上乗	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	25年度以降方向性	現状維持		26年度以降方向性	現状維持	平成22年度	5,095	必要性 4		有効性 4	達成度 4	効率性 4	0	5,095	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	
					事業形態	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	25年度以降方向性	現状維持		26年度以降方向性	現状維持	平成22年度	2,099	必要性 4		有効性 4	達成度 4	効率性 4	0	2,099	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	
10-02-22	健康課 予防係	根拠法令等 予防接種法	対 象 東久留米市に住所を有する者で、各予防接種において定められている年齢にある者	手 段・ 内 容 予防接種法に基づき、四種混合、三種混合、二種混合、麻しん風しん、日本脳炎、ポリオ、BCGを集団または個別で実施。対象者に標準接種時期に個別通知を送付。	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	拡大	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄： 26年度に向けた方向性等	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	説明欄： 26年度に向けた方向性等										
	健康課長 原田 祐子				15,724	17,161	108	143,384	10,952	154,336	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	11,607	必要性 4		有効性 4	達成度 4	効率性 4													
	予防接種事業（一類 疾病）				財源	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	25年度以降方向性	現状維持		26年度以降方向性	現状維持	平成23年度	79,121	必要性 4		有効性 4	達成度 4	効率性 4	83,581	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4		
					上乗	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	25年度以降方向性	現状維持		26年度以降方向性	現状維持	平成22年度	15,910	必要性 4		有効性 4	達成度 4	効率性 4	111,994	13,191	125,185	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4
					事業形態	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	25年度以降方向性	現状維持		26年度以降方向性	現状維持	平成22年度	15,116	必要性 4		有効性 4	達成度 4	効率性 4	93	111,994	13,191	125,185	必要性 4	有効性 4	達成度 4
10-02-23	健康課 予防係	根拠法令等 予防接種法	対 象 65歳以上及び60歳以上65歳未満で、心臓や腎臓、呼吸器等の重い病気のある市民	手 段・ 内 容 ①季節性インフルエンザ予防接種＝10月から翌年1月に、対象者にインフルエンザワクチンの個別接種を実施。 ②新型インフルエンザワクチン接種費用の助成	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	説明欄： 26年度に向けた方向性等	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	説明欄： 26年度に向けた方向性等										
	健康課長 原田 祐子				28,288	10,250	36	23,794	1,398	25,192	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	23,794	必要性 4		有効性 4	達成度 3	効率性 4													
	予防接種事業（二類 疾病）				財源	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	25年度以降方向性	現状維持		26年度以降方向性	現状維持	平成23年度	27,235	必要性 4		有効性 4	達成度 3	効率性 4	25,737	1,520	27,257	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4
					上乗	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	25年度以降方向性	現状維持		26年度以降方向性	現状維持	平成22年度	28,093	必要性 4		有効性 4	達成度 3	効率性 4	24,860	1,320	26,180	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4
					事業形態	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	25年度以降方向性	現状維持		26年度以降方向性	現状維持	平成22年度	28,093	必要性 4		有効性 4	達成度 3	効率性 4	43	24,860	1,320	26,180	必要性 4	有効性 4	達成度 3
10-02-24	健康課 予防係 保健サービス係	根拠法令等 ・子宮頸がん予防等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金交付要綱（国） ・平成24年度東京都子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業補助金交付要綱（都） ・東久留米市子宮頸がん等ワクチン接種事業実施要綱	対 象 ①子宮頸がん予防ワクチン： 中学1年生～高校1年生相当の女子 ②ヒブワクチン③小児用肺炎球菌ワクチン： 生後2か月から5歳未満の乳幼児	手 段・ 内 容 市内及び協定を結ぶ近隣4市（小平市・東村山市・清瀬市・西東京市）の実施医療機関にて個別接種。	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性	廃止(完了・統合)	26年度以降方向性	廃止(完了・統合)	平成24年度	説明欄：都の補助金（都基準額の1/2補助）39,348千円 1回の接種について、国の基準額のうち1割相当の自己負担金（一部自己負担金免除者有）。地方交付税措置により接種費用の4.5%程度が交付される。	平成24年度	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	説明欄： 26年度に向けた方向性等										
	健康課長 原田 祐子				(1)子宮頸がん予防ワクチン： (1)17,180(2)① 2,436(2)② 3,703(3)③④ (人)	(1)3,712(2)① 1,060(2)② 3,712(3)③④ (人)	(1)13,371(2)① 2,348(2)② 3,703(3)③④ (人)	(1)199(2)①96% 222(2)③96% 225% (人)	78,252	1,896	80,148	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	38,904		必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3												
	子宮頸がん等予防ワ クチン接種事業				財源	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	25年度以降方向性	現状維持		26年度以降方向性	現状維持	平成23年度	104,981	必要性 4		有効性 4	達成度 3	効率性 3	52,536	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3		
					上乗	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	25年度以降方向性	現状維持		26年度以降方向性	現状維持	平成22年度	0	必要性 4		有効性 4	達成度 3	効率性 3	0	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3		
					事業形態	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	25年度以降方向性	現状維持		26年度以降方向性	現状維持	平成22年度	0	必要性 4		有効性 4	達成度 3	効率性 3	0	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3		

平成25年度事務事業評価表(平成24年度振り返り)

政策名		健康で幸せにすごせるまち		施策番号・名		10 健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号・名		10-02		健康づくりの推進										
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体				一般財源分				全庁評価会議 (26年度に向けた方向性等)				
	所管課長名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等			特定財源に伴う一般財源			一般財源			
	事務事業名			①	②	①+②	①	②	①+②	(千円)	(千円)	(千円)	事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等						
10-02-25	健康課 予防係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症予防方法)	対象 市内の感染症患者 手段・内容 ・患者が発生した場合の消毒等の契約締結 ・新型インフルエンザ発生時の感染防止対策	全市民	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性 現状維持 26年度以降方向性 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4 説明欄: 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において定められた感染症を予防するために実施する事業である。法律に定められた感染症が発生した場合、速やかに消毒作業等を行う必要がある。それに対応するために必要な事業である。 また、新型インフルエンザ(鳥インフルエンザ)対策用の防護服等の備蓄については、発生する可能性は年々高まっている状況から危機管理上不可欠な事業である。鳥インフルエンザは強毒性であり、感染拡大の防止、治療にあたる医療従事者等の感染を防ぐための防護服等の備蓄は市の責務である。	767	128	895	説明欄: 健康増進事業費補助金(基準額の1/3及び基準額超過分が市の負担)個別勸奨の40歳は自己負担金相当額分10/10が国の補助。市町村総合交付金も活用(自己負担金)500円×449人=249,500円を充当している。	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	説明欄: 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において定められた感染症を予防するために実施する事業である。法律に定められた感染症が発生した場合、速やかに消毒作業等を行う必要がある。それに対応するために必要な事業である。 また、新型インフルエンザ(鳥インフルエンザ)対策用の防護服等の備蓄については、発生する可能性は年々高まっている状況から危機管理上不可欠な事業である。鳥インフルエンザは強毒性であり、感染拡大の防止、治療にあたる医療従事者等の感染を防ぐための防護服等の備蓄は市の責務である。	
	健康課長 原田 祐子				115,998	(人)	0	(件)	()	()	767		128	895	767		必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 4					
	感染症予防事業				平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		837	139	976		837					
	財源				平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		864	114	978		864					
10-02-26	健康課 特定健診係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 健康増進法(国)	対象 40歳以上の市民で、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことのない者 手段・内容 特定健診・後期後期高齢者健診、無保険者健診と同時実施(40歳以上は、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことのない者)、被用者保険等の加入者	40歳以上の過去に肝炎ウイルス検査を受けたことのない者の人数	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性 拡大 26年度以降方向性 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3 説明欄: 40歳、41歳以上で未受診の者に対して肝炎ウイルス検査受診券を発行し、6~10月に市内指定医療機関にて個別健診実施。自己負担金500円徴収。検査を受ける者は、主に特定健診・後期高齢者健診の対象者であり、被用者保険等の市民の方に未受診者が多い。 国民の安心を守る肝炎対策強化推進事業により、肝炎ウイルス検査へ個別勧奨メニューを実施するよう求められており、当市では今年度から40歳のみ実施。それにより、40歳の肝炎受診率は26.1%に急増した。	4.7	4,431	1,234	5,665	732	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	説明欄: 健康増進費補助金(基準額の1/3及び基準額超過分が市の負担)個別勸奨の40歳は自己負担金相当額分10/10が国の補助。市町村総合交付金も活用(自己負担金)500円×449人=249,500円を充当している。
	健康課長 原田 祐子				21,412	(人)	1,007	(人)	()	()	4.7		4,431	1,234	5,665	732						
	肝炎ウイルス検査事業				平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		2,097	563	2,660	444						
	財源				平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		19,521	1,224	21,745	337						
10-02-27	健康課 保健サービス係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 (国)健康増進法第九条(市)健康増進計画「わくわく健康プラン東くるめ」	対象 ・老人医療受給者以外の40歳以上または40歳未満の交付を希望する市民・3歳児健診来所した母親 手段・内容 健診・健康教育・個別相談等、市民に接する機会に手帳のメリットや活用方法を具体的に説明しながら交付する。	集団健診・健康教育・個別相談等に参加した市民の数	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性 現状維持 26年度以降方向性 現状維持 必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄: 市民が健診や健康教育、健康相談を受ける際にこれまでの経過についてわかるようにしておくことで、自分の健康状態についてより深く理解することができる。市民のライフステージに合わせた健康管理手帳として継続していく。	2,925	61	329	89	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	説明欄: 健康増進費補助金(基準額の1/3及び基準額超過分が市の負担)〈事業費〉・健康手帳・女性のための健康づくり手帳	
	健康課長 原田 祐子				(人)	(冊)	()	()	()	2,925	61		329	89								
	健康手帳交付事業				平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		3,000	1,401	4,401		72					
	財源				平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		3,355	1,450	4,805		78					
10-02-28	健康課 予防係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 ・大気汚染医療費助成条例(東京都) ・大気汚染に係る健康障害者に対する医療費の助成に関する条例(及び施行規則)(東京都)	対象 気管支ぜん息に罹患して、都内に引き続き1年以上住所を有し、健康保険等に加入している市民 手段・内容 東京都への大気汚染医療費助成の申請を東京都に代わって受理する。	対象者数	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	25年度以降方向性 現状維持 26年度以降方向性 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 3 説明欄: 福祉保健区市町村包括補助による全額補助により実施。 東京都の大気汚染に伴う気管支ぜんそく等に対する、2年に1度更新手続きが必要な医療費助成である。市民の利便性を考え、受理事務について市で行うのは妥当であると考え。	516	50	1,948	100	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	説明欄:	
	健康課長 原田 祐子				(人)	(件)	()	()	()	516	50		1,948	100								
	大気汚染医療費助成受付事務				平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度	平成23年度		497	27	1,875		100					
	財源				平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度		508	29	1,888		100					

平成25年度事務事業評価表(平成24年度振り返り)

政策名		健康で幸せにすごせるまち		施策番号・名		10		健やかな生活を支える保健医療の推進		基本事業番号・名		10-02		健康づくりの推進															
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体						一般財源分				全庁評価会議 (26年度に向けた方向性等)									
	所管課長名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等			特定財源に伴う一般財源		一般財源											
	事務事業名			①	②	①+②	①	②	①+②	(千円)	(千円)	(千円)	事業費 (実績額)	事業費の概要説明	事業費 (実績額)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等													
10-02-29	健康課 特定健診係	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 感染症予防法(国)	対象 節目年齢(40・45・50・55・60歳)・65歳以上の東久留米市国民健康保険加入者、後期高齢者医療被保険者	平成24年度	26,872	平成24年度	13,847	平成24年度	51.5	平成24年度	38,960	平成24年度	1,604	平成24年度	40,564	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	22,226	説明欄：市町村総合交付金を活用 (自己負担金)500円×13,847人=6,923,500円を充当している。	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄： 26年度に向けた方向性等	
	健康課課長 原田 祐子			平成23年度	25,986	平成23年度	13,361	平成23年度	51.4	平成23年度	41,945	平成23年度	1,740	平成23年度	43,685	平成23年度	24,162	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	平成23年度		説明欄： 結核の早期発見・早期治療を目的に、65歳以上の市民に対しては、1年に1回胸部レントゲン検査実施が義務づけられているため、事業継続が必要。6～10月に市内指定医療機関で個別健診実施。特定健診・後期高齢者健診対象者は同時実施できるため受診者が多く効率的である。平成24年度から便潜血検査(一日法)は廃止し、大腸がん検診(2日法)に移行した。自己負担金500円	平成23年度					
	特定健康診査に伴う追加項目健診事業			財源	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額	平成22年度	25,382	平成22年度	13,147	平成22年度	52.0	平成22年度	41,619	平成22年度	1,933	平成22年度	43,552	平成22年度	13,824	平成22年度		平成22年度							
				上乗	<input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出)																								
				事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	意図	病気の早期発見、治療を行う。 (胸部疾患、消化器疾患)																						
10-02-30	健康課 特定健診係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 健康増進法(国)	対象 40歳以上の生活保護受給者及び中国残留邦人	平成24年度	1,403	平成24年度	341	平成24年度	24.3	平成24年度	3,774	平成24年度	2,407	平成24年度	6,181	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	729	説明欄：健康増進事業費補助金(基準額の1/3及び基準額超過分が市の負担)市町村総合交付金も活用	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄： 26年度に向けた方向性等	
	健康課課長 原田 祐子			平成23年度	1,245	平成23年度	318	平成23年度	25.5	平成23年度	3,785	平成23年度	2,609	平成23年度	6,394	平成23年度	760	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	平成23年度		説明欄： 受診に関する案内を対象者全員に個別通知。誕生月毎に健診実施月を分け、6～10月に市内指定医療機関にて個別健診実施。特定健診に準ずる健診項目を実施し、健診費用は無料。生活習慣病予防・病気の早期発見・早期治療のために1年に1回の健診機会の提供は今後も必要。	平成23年度					
	無保険者健康診査事業			財源	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額	平成22年度	1,058	平成22年度	271	平成22年度	25.6	平成22年度	3,373	平成22年度	2,899	平成22年度	6,272	平成22年度	611	平成22年度		平成22年度							
				上乗	<input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出)																								
				事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	意図	病気の早期発見、治療を行う。																						
10-02-31	健康課 特定健診係	<input type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的 がん検診推進事業実施要綱(国)	対象 平成23年4月1日現在、【子宮頸がん検診】20・25・30・35・40歳の女性、【乳がん検診】40歳・45歳・50歳・55歳・60歳の女性、【大腸がん検診】40・45・50・55・60歳の男女	平成24年度	15,193	平成24年度	3,371	平成24年度	22.2	平成24年度	24,673	平成24年度	4,809	平成24年度	29,482	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	現状維持	平成24年度	2,628	説明欄：疾病予防対策事業費等補助金(平成21年度国負担10割平成22年度から1/2市負担)平成22年度からは市町村総合交付金も活用	平成24年度	25年度以降方向性		26年度以降方向性		説明欄： 26年度に向けた方向性等	
	健康課課長 原田 祐子			平成23年度	15,450	平成23年度	3,054	平成23年度	26.4	平成23年度	26,443	平成23年度	5,213	平成23年度	31,656	平成23年度	4,070	25年度以降方向性	現状維持	26年度以降方向性	平成23年度		説明欄： 平成21年度から制度がスタート。平成23年度から「がん検診推進事業」と名称が変わり、対象に大腸がん検診が追加された。子宮頸がん・大腸がんは東久留米市医師会に委託。乳がんは複十字病院及び東京都予防医学協会に委託。特に、東京都予防医学協会はわくわく健康プラザで検診車を用いて実施。スタッフ(医師・レントゲン技師含む)全員が女性のため好評である。24年度から大腸がん検診について、特定健康診査・後期高齢者健診等と同時実施したことにより、受診率が18.1%に急増した。	平成23年度					
	がん検診推進事業			財源	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額	平成22年度	7,752	平成22年度	2,212	平成22年度	28.5	平成22年度	23,243	平成22年度	5,346	平成22年度	28,589	平成22年度	3,860	平成22年度		平成22年度							
				上乗	<input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出)																								
				事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	意図	国のがん対策事業で受診率を50%まで引き上げる。																						